

住宅金融支援機構（本報告書においては「機構」といいます。）は、このたび、広くお客さま、投資家等のステークホルダーの皆さまに機構の持続的な価値創造に向けた取組を理解いただくことを目的に「統合報告書2025」を作成しました。

編集にあたっては、独立行政法人等の保有する情報の公開に関する法律（平成13年法律第140号）の趣旨およびIFRS財団が提示する国際統合報告フレームワーク等を参考にし、機構の事業モデルを提示するとともに、「機構の全体像」「価値創造ストーリー」「住まいのしあわせ」を創出する取組を通じて持続的な価値創造の仕組みを統合的に説明しています。

### 参考にしたガイドライン

- 国際統合報告フレームワーク（IFRS 財団）
- 価値協創ガイダンス（経済産業省）
- GRIスタンダード（Global Reporting Initiative）
- SASBスタンダード（米国サステナビリティ会計基準審議会）

### 報告対象

期間：令和6年4月～令和7年3月（一部、令和7年4月以降の情報を含まず。）

範囲：独立行政法人 住宅金融支援機構

### 発行時期

令和7年7月（次回発行予定：令和8年7月）

### 各種開示資料について

機構では、本報告書のほかにも、事業活動について説明責任を果たすため、各種資料を発行・開示し、機構サイトで公開しています。主な資料は、以下のとおりです。

これら以外にも多数の資料を、機構サイトに掲載しています。

- 業務実績等報告書・業務実績評価調書  
中期計画・年度計画に基づいて行った業務の実績と自己評価を掲載しています。  
国土交通大臣および財務大臣が作成する評価調書では、評価結果も併せて掲載されています。
- 決算概要  
機構の財務状況について、要点を整理しています。勘定別の財務状況もご覧いただけます。
- 決算報告書  
法人全体と勘定別に、予算・決算の状況を開示しています。
- 事業報告書  
政策実施機能の発揮に係る全体像や業務運営の状況等について掲載しています。
- 季報「住宅金融」  
住宅金融に関する話題、機構の取組等をお届けする広報誌です。

### 本誌の計数について

- (1) 単位未満の計数  
金額の単位未満は四捨五入しています。また、比率（%）は原則として小数点第2位を四捨五入しています。したがって、合計欄の計数は、内訳を集計した計数と一致しないことがあります。
- (2) 表示方法  
単位に満たない場合は「0」と、計数の全くない場合は「-」と表示しています。

### 将来見通しに関する注意事項

本報告書には将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの記述は、本報告書作成時点の判断に基づくものであり、リスクや不確定要素を含んでいます。今後、さまざまな要因により、これらの見通しとは大きく異なる可能性があります。

## SPOTLIGHT



### 理事長メッセージ

いつの時代も、住まいはしあわせの原点です。これからも機構が「住まいのしあわせを、ともにつくる。」存在であり続けられるよう、ステークホルダーの皆様とともに新たな挑戦を止めることなく進化を続けて参る決意です。



### 住宅金融支援機構のあゆみ

私たちの住宅金融の取組は、住宅金融公庫を設立した昭和25年から始まり、平成19年からは民間金融機関を支援する証券化支援業務に主要業務を転換しました。社会環境の変化に応じて事業を進化させ、ステークホルダーに支えられて歩み続けています。



### 私たちの事業

民間金融機関による全期間固定金利の住宅ローンの提供を支援する証券化支援事業を行うとともに、住宅融資保険制度を通じて民間金融機関の資金供給を支援しています。また、政策上重要で民間金融機関では対応困難な分野の資金融通等を行っています。



### 私たちの提供価値

政策実施機関として住生活基本計画の目標を重要課題とし、社会課題の解決に取り組んでいます。これまで培ってきたネットワークやノウハウを活かし、長期固定金利による「安心」の提供等を通じて、豊かな住生活の実現に貢献しています。



### 「住まいのしあわせ」を創出する取組

金融リテラシー向上やデジタル技術活用等の機構の取組を、職員インタビューやステークホルダーからのコメントを交えて紹介します。

## CONTENTS

- 01 パーパス・理念
- 03 編集方針・CONTENTS
- 05 理事長メッセージ

### 機構の全体像

- 11 住宅金融支援機構のあゆみ
- 15 中期目標・中期計画
  - 15 第四期中期目標・中期計画に係る実績
  - 16 第五期中期目標・中期計画

### 価値創造ストーリー

- 17 価値創造プロセス
- 19 私たちの事業
- 21 私たちの提供価値
  - 21 VALUE1 幅広い世代・立場を支える住まいとコミュニティ
  - 23 VALUE2 住まいの進化で脱炭素社会へシフト
  - 25 VALUE3 災害に強い、負けない住まいと地域づくり
  - 27 VALUE4 地域社会を支える住宅ストックの保全・活用
  - 29 VALUE5 安心で多様なライフスタイルを叶える住まいの安心

- 31 財務・非財務ハイライト
- 35 役員一覧

### 「住まいのしあわせ」を創出する取組

- 39 副理事長インタビュー
- 41 人に寄り添う取組
  - 41 金融リテラシー向上の取組
  - 45 お客さまコミュニケーション
  - 47 人財
  - 50 働きやすい職場環境
  - 54 人権

- 55 デジタル技術活用と今後のDX展開
  - 55 デジタル化プロジェクト担当者座談会

- 59 関係機関との連携・支援
  - 59 ステークホルダーとの連携
  - 61 住宅金融に関する調査
  - 62 国際対応
  - 63 資金調達

- 64 環境への取組
  - 64 脱炭素社会の実現に向けた取組
  - 65 TCFD提言への対応

- 67 ガバナンス
  - 67 コーポレートガバナンス
  - 69 コンプライアンス
  - 70 リスク管理
  - 71 事業継続計画（BCP）
  - 71 情報セキュリティ
  - 71 個人情報保護
  - 72 内部監査
  - 73 カイゼン活動

- 74 コーポレートデータ